

## 国内で過去に報告がない耐性菌(カテゴリーA)の変更について

## 1. 現状

国内で過去に報告がない耐性菌(カテゴリーA)については、JANIS でデータ受信後 1～2 時間以内に医療機関の検査部門担当者及び責任者に対して「問題菌警告通知メール」を送信すると共に、「提出状況一覧」に「特殊な耐性菌」として警告表示を記載している。

## 2. 課題

カテゴリーAに含まれていないが、国内で過去に報告がない、CTXにおいてMIC $\geq$ 1 $\mu$ g/mLと報告された *S. pyogenes* の株が 2016 年には 11 株報告されており、その後の検証の結果、10 株は再検不能であり、1 株は再検後に 0.12 $\mu$ g/mL で感性と判定されていることから、報告があった場合には早急な確認が必要である。

## 3. 対処方針(案)

CTXにおいてMIC $\geq$ 1 $\mu$ g/mL の *S. pyogenes* をカテゴリーAに追加する。

(参考)

## 国内で過去に報告がない耐性菌(カテゴリーA)

菌名コード	菌名	抗菌薬名	MIC ( $\mu$ g/mL)	SIR	問題菌警告メール 送信数	集計対象 株数
1111	<i>Streptococcus pyogenes</i>	PCG	>0.12	S 以外	36	0
		ABPC	>0.25	S 以外	50	0
		VCM	>1	S 以外	13	0*
		LZD	>2	S 以外	2	0*
1114	<i>Streptococcus agalactiae</i>	VCM	>1	S 以外	61	0*
		LZD	>2	S 以外	18	0*
1131	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (すべての検査材料)	VCM	>1	S 以外	70	0*
		LZD	>2	S 以外	10	0*
1301、 1303～ 1306	<i>Staphylococcus aureus</i>	VCM	$\geq$ 16	R	20	MSSA:0* MRSA:0

S,I,R の判定は原則 CLSI2012(M100-S22)に準拠する

\*は集計対象外